

CALENDAR 2026

RAILWAY PHOTOGRAPHY & POETRY CONTEST



	<p>1 月 エコトラン賞 「東京に雪が降る」 吉田信正（埼玉県） JR 中央線 飯田橋・市ヶ谷間</p>		<p>2 月 エコトラン賞 「あみだくじ」 栗原正隆（大阪府） 近鉄 大和西大寺駅</p>
	<p>3 月 エコトラン賞 「四葉のクローバー」 山形真司（兵庫県） JR 神戸線</p>		<p>4 月 エコトラン賞 「風わたる。」 櫻井路子（東京都） 山形鉄道フラワー長井線 羽前成田駅</p>
	<p>5 月 エコトラン賞 「使命」 三田村 裕（神奈川県） JR 飯田線 金野駅</p>		<p>6 月 鉄博賞 「私は私」 草山 歩（神奈川県） JR 予讃線 宇和島駅</p>

ecotran Calendar

from the Railway Photo & Poetry Contest

	<p>7 月 国土交通省鉄道局長賞 「暑い夏に」 塩川里美（静岡県） JR 御殿場線 御殿場・足柄間</p>		<p>8 月 エコトラン賞 「ひと夏の思い出」 小倉希一（埼玉県） JR 京浜東北線 赤羽・川口間</p>
	<p>9 月 エコトラン賞 「初化粧」 岡本由紀（東京都） JR 伯備線 備中川面・方谷間</p>		<p>10 月 米屋こうじ賞 「秋影の線路」 丸山かおる（埼玉県） 大井川鐵道 福用・大和田間</p>
	<p>11 月 水無田気流賞 「沈黙」 池田淳二（埼玉県） 東武日光線 東武動物公園・杉戸高野台間</p>		<p>12 月 エコトラン賞 「線路で働く男たち」 小野凌輔（富山県） あいの風とやま鉄道</p>

鉄道写真詩コンテスト 2025 入賞作品をカレンダーにしています

鉄道はエコ、鉄道でエコ



ecotran JNSTE

2026

RAILWAY PHOTOGRAPHY & POETRY CONTEST



「東京に雪が降る」
古田信正(埼玉県)

雪が降る
喧騒を沈め 音を消す
穢れを清め 東京に雪が降る
行き交う人はみな親し気だ
「東京はさみしい」
いつか君が別れ際につぶやいた言葉だ
静かに 雪が降る
街を眠らせ 雪が降る
君のいない東京に
雪が降る

January

JR中央線 飯田橋・市ヶ谷間

2026 年 1 月

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	31	1 元旦	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12 成人の日	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31
1	2	3	4	5	6	7



2026 年 2 月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11 建国記念の日	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23 天皇誕生日	24	25	26	27	28
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14



RAILWAY PHOTOGRAPHY & POETRY CONTEST



「四葉のクローバー」 山形真司(兵庫県)
 誰かが置いていった
 四葉のクローバー
 あなたの幸せは
 途中下車したのかもしれない
 ガタンゴトンガタンゴトン
 次の幸せはどこに向かって
 運ばれていくのだろうか

JR神戸線

2026 年 3 月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20 春分の日	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11



2026 年 4 月						
日	月	火	水	木	金	土
29	30	31	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29 昭和の日	30	1	2
3 憲法記念日	4 みどりの日	5 こどもの日	6 振替休日	7	8	9



2026

RAILWAY PHOTOGRAPHY & POETRY CONTEST



「使命」 三田村 裕（神奈川県）
 ディーゼルエンジンのアイドリングの音と
 鳥のさえずりと
 風に葉のそよぐ音と
 聞こえるのはそれだけ
 駅で列車を待つ人もいなければ
 降りる人もいない
 それでも列車は走る
 雨の日も 風の日も
 それを必要とする人のために
 秘境駅とも言われる駅のホームに立ち
 発車の時刻を待つ運転士の姿に
 静かでありながら強い使命感を感じた

May

JR飯田線 金野駅

2026 年 5 月

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29 昭和の日	30	1	2
3 憲法記念日	4 みどりの日	5 こどもの日	6 振替休日	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31	1	2	3	4	5	6



RAILWAY PHOTOGRAPHY & POETRY CONTEST



「私は私」 草山 歩（神奈川県）
 「あの子みたいになりたい」と
 強く焦がれたことがある
 東京 名古屋 新大阪
 あの子はどこでも人気者
 「あの子みたいになりたい」と
 夢中でもがいたことがある
 顔も塗装も雰囲気も
 近付きたくて着飾った
 そうして分かったことがある
 「私はあの子になれない」と
 けれど 気付いたこともある
 「あの子も私になれない」と
 私は私なのだから
 デイジーゼルの命を燃やす
 私は私なのだから
 終着駅では笑っていたい

JR予讃線 宇和島駅

2026 年 6 月

日	月	火	水	木	金	土
31	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11

2026

RAILWAY PHOTOGRAPHY & POETRY CONTEST



「暑い夏に」 塩川里美（静岡県）
 歴史上最高に暑い夏が来るらしいよ
 山に行こうか
 海に行こうか
 君と一緒になら
 僕史上最高にあつい夏になるよ
 きつとね

July

JR御殿場線 御殿場・足柄間

2026 年 7 月

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20 海の日	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	1
2	3	4	5	6	7	8

2026

RAILWAY PHOTOGRAPHY & POETRY CONTEST



「ひと夏の思い出」 小倉希（埼玉県）
 ドドーン。空が照らされる。
 いつも違うホームの姿。
 彼女の浴衣がほのかに染まる。
 「撮れた？」と聞く君
 「まあまあかな。」本当は自信作。
 ヒューン。花火の色に染まりながら、
 滑り込んできた電車のにせられて
 歩き始める。
 彼女の笑顔。
 夜空を照らすまん丸い花火。
 笑い声がホームから去る電車をみて言う。
 「また来年も、見れるといいな。」

August

JR京浜東北線 赤羽・川口間

2026 年 8 月

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	31	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11 山の日	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31	1	2	3	4	5

2026



2026 JAPANESE HAIKAI & POETRY CONTEST

「初化粧」 岡本由紀(東京都)
 憶えたての手順で慎重に、
 肌色のクリームを塗っていく。
 眠れないまま夜を明かしたことが
 悟られないよう、目元にも気を配る。
 眉を整え、頬に紅を挿すと、
 顔にほわりと明かりが灯る。
 扉を開けたら秋の風。
 颯爽と、タタンタタンと。
 真っ赤な線香花火へまっしぐら。

September

JR伯備線 備中川面・方谷間

2026 年 9 月

日	月	火	水	木	金	土
30	31	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21 敬老の日	22 国民の休日	23 秋分の日	24	25	26
27	28	29	30	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10

2026

普通 千 頭

RAILWAY PHOTOGRAPHY & POETRY CONTEST



「秋影の線路」
丸山かおる（埼玉県）

すすき揺れ
秋の影
ヘッドライトに映る
駅灯り
きりのホーム
風の声
銀列車過ぎ
夜消える穂が揺れ
星ひとつ
ささやき光る
夜のあと
夜明け
新しき光
朝露に輝き
希望満ち

October

大井川鐵道 福用・大和田間

2026 年 10 月

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12 スポーツの日	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31
1	2	3 文化の日	4	5	6	7

2026

RAILWAY PHOTOGRAPHY & POETRY CONTEST



「沈黙」 池田淳二（埼玉県）
 霧は記憶を食べる
 踏切は夢の境界線
 灯りは消えたまま
 誰も渡らな
 誰も待たない
 列車は来ない
 それでも
 鉄の匂いが
 過去を呼び戻す
 人の気配はないのに
 誰かがいたように
 空気が残っている
 霧の奥に
 名もなき声
 沈んでいく
 踏切はただ
 沈黙を守っている

November

東武日光線 東武動物公園・杉戸高野台間

2026 年 11 月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3 文化の日	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23 勤労感謝の日	24	25	26	27	28
29	30	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12

2026

RAILWAY PHOTOGRAPHY & POETRY CONTEST



「線路で働く男たち」

小野凌輔（富山県）

鉄の匂いが夜空を染める
重機の唸りが地平を揺らす
男たちの影が線路に刻まれ
一瞬の静寂が明日を支える

火花が跳ねれば夜が割れる
錆びたレールに命を吹き込む
汗の塩が風に解けてゆく
星屑を照らす作業灯の下

大地の鼓動を手のひらで測り
継ぎ目なき軌道を夢見る
コンクリートの隙間から芽吹く
名もなき草のしたたかきよ
鉄の業火のともしびよ

最後のボルトが締められる頃
遠くで汽笛が朝を呼ぶ
消えゆく工具の音のあとには
光の帯より新たなときが刻まれる

あいの風とやま鉄道

December

2026 年 12 月

日	月	火	水	木	金	土
29	30	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	1	2
3	4	5	6	7	8	9